

三商同窓会報



No.60

令和 4年8月1日発行

ホームページアドレス

<http://tcsaa.jp/>



江東区牡丹 三商会館

夕暮 耕籜 則之

東都の海の門にありて
心は濶し、若きわれら
都立第三商業、ここに立つや
江戸の誇りを継げるわれら

作詞 多田宏
作曲 池内友次郎
編曲 青山政憲

見よ、
三商の旗じろし

$T \cdot C \cdot S$ の行くところ

旭日洗ふ波がしら

勝算すでに吾にあり

頑張れ三商、頑張れ三商

(ふれっ・ふれっ・振れー)

聞け、三商の底ぢから

T・C・Sのはた風は

歴史が語るその誉れ

命の誇り吾にあり

頑張れ三商、頑張れ三商

(ふれつ・ふれつ・振れー)

見よ、
三商の鉄の陣

T.C.S. の旗の下

正義に結ぶ和のこころ

明るく強き若人の

凱歌はすでに吾にあり

頑張れ三商、頑張れ三商

(ふれつ・ふれつ・振れー)

校歌・応援歌		私の楽しい思い出	市川基治	0 6	三商を目指していた時代から卒業する迄	松本隆治	1 5
目次		都立第三商業高等学校	早矢仕昌男		昔の先生	桜井義男	1 6
—ごあいさつ—		第 2 0 期の皆様	代筆 裕子さん	0 7	代表河原さんに向けて	有志五名	1 7
同窓会会長	三浦康二	私とバレーボール	出町 豊	0 7	清田栄一先生の想出話	匿 名	1 7
都立三商学校長	山田和人	在学時の思い出	永須敏雄	0 8	思い出の写真集& 寄書		1 8
(公財) 東京三商会理事長	杉本光男	「男と女」	黒田宗博	0 9	—寄稿・エッセイ—		
情報委員会 (22 期の皆さんへ)	篠崎 清	思い出	柳沢広繁	0 9	続 徒然なるままに 閑話休題	黒子 晃	2 3
2 0 期生へのコメント	三浦康二	懐かしき母校を想う	菅波良司	1 0	時効となった戦後の事件簿	高野 昇	2 5
—第 2 0 期特集—		思い出	鈴木邦夫	1 1	青春!! と云う名の景色	古田勝一	2 7
巻頭の言葉	河原啓介	2 0 期生の米寿特集号に向けて	降旗 弘	1 1	「本物の八百屋」野本要二さんが勲章をゲット!! パートⅡ	古田勝一	2 8
特集号準備会について	松本隆治	今村校長先生のこと	藤田昭二郎	1 2	—同窓会事務局より—		
古い写真を眺めて	高山明雄	自家営組の思い出	米山 孝	1 2	活動報告、会計報告、予算他		2 9
思い出	樋田勝之	都立三商との出会い	河原啓介	1 3	編集後記		3 3
思い出	大埜昌一	三商の思い出	鈴木昌雄		—広告のページ—		3 3
思い出の記	楠 裕行		代筆 慶子さん	1 3			
思い出	木曾忠男	三商の思い出	中川裕司	1 4			
想い出	大石 (岡田) 亘子	思い出	山本英輔	1 5			

ごあいさつ

歴史を作る主体者で

同窓会会長
第31期 三浦康二

コロナ禍も終りがなかなか見えない中であつて母校三商も少し落ち着きを取りもどしております。

このたび4月に赴任されました山田校長、加藤副校長先生をはじめ、教職員の皆様はコロナの感染の抑止に取り組みられており同窓会一同心より感謝を申し上げます。

同窓会活動も自粛を余儀なくされておりますが、同窓会報制作委員会も感染対策をいたして特に20期の皆様の熱意あふれる原稿集めをいたしている事も含めて会報60号を発行するに至り大変にありがたく思っております。

私も以前に長い間住んでおりました墨田区押上の地に自立式電波塔として世界一の高さを誇る「東京スカイツリー」が開業して満10周年を迎え、展望デッキの来場者数は4000万人を超えて東京たなシンボルとして日夜温かな光を放っておりますが、建設当時にはこれだけの巨大な建造物を造る事は大きな挑戦だった。延べ約58万人もの技術者や職人が携わり、数々の困難に直面しました。当時の鉄骨の管理者は「当初は皆どこか腰が引けているところがありませんでした。しかしながら、すぐにこのプロジェクトはメンバー全員が一致団結しないと実現できないとい

うことに気付きました。その瞬間からメンバー全員の結束が一気に強まっていきました。」と振り返っています。「世界一のタワーをこの手で造る」その主体者としての自負と誇りがこの偉業を成し遂げたのだと思います。

私達同窓会も一丸となつて母校都立三商の創立100周年を目指して前進してまいりたいと思います。

ご挨拶

都立第三商業
学校長 山田和人

本年四月一日より、第二十二代校長として着任致しました。宜しくお願い申し上げます。

実は平成三年（一九九一年）、私が大学を卒業してすぐに、商業科教員として第一歩を踏み出したのが、ここ、三商でありました。七年間にわたり、第十三代後藤安孝校長、第十四代坂倉敏夫校長、第十五代津守四郎校長先生方から、厳しくも温かい薫陶を賜りましたことは私の宝です。第五代清田栄一先生のご家族から蔵書の寄贈を頂きました時には、先生の御宅まで書籍を頂きに伺ったことも貴重な思い出となっております。

初めての担任は、平成五年（一九九三年）からの三年間、第六十三期生でした。悪戦苦闘しながらも、情熱を持って生徒と向き合い、教師としての基礎、基本を学ばせて頂きました。私にとって三商は、大切な原点であります。その三商に、二十三年ぶりに着任できましたことは、望外の喜びとしか言いよう

がありません。

初代校長・吉澤徹先生が掲げた「リトルゼントルマンを育成する三商教育」との教育方針、そして校歌の歌詞「都の空は明けたり今 希望は燃ゆる若きわれら 都立第三商業ここに拠るや 日本の富を担うわれら」に込められた言葉に、日々、身が引き締まる思いです。三商は、生徒達が希望に溢れ、互いに切磋琢磨し、日本ひいては世界の富、繁栄を担うべく、人のために尽くす人材を輩出する使命があると、痛感しています。

一方で、令和二年（二〇二〇年）からのコロナ禍は続いております。在学している生徒たちは、文化祭、体育祭等の学校行事が中止や延期に追い込まれ、人と人とのコミュニケーションまで距離を遠ざけられているような状況であります。しかし、その中にある、足元を見つめ、新しい可能性の開花に主眼を置き、一人一人に生きる力、自信を与える教育を模索するチャンスととらえております。

今後とも、東京三商会の皆様のお力をお借りしながら、「リトルゼントルマン、リトルレディ」を育成する三商教育を継承、発展させてまいります。どうぞ、お力添えのほど、宜しくお願い申し上げます。

ご挨拶

公益財団法人東京三商会 理事長
第26期 杉本光男

日頃より当公益財団法人東京三商会の事業に、ご支援ご協力を賜りあつく御礼申し上げます。

新型コロナウイルスに振り回されてきましたが、ここにきていくらかおさまってきた気配を感じます。まだまだ油断はできませんが日常の生活に戻るの

もそう遠くはないと思います。

さて当財団の近況ですが、コロナ過ではありましたが皆様のご支援のおかげで奨学金給付は順調に進んでいます。今年もこれから選考委員会によって選出されますが、昨年以上の人数に支給できればと思っています。以前は対象者が三商の生徒に限られていましたが、公益法人になってからは、都立の商業高校の生徒に対象範囲が広がりました。応募人数もぐんと多くなりました。選考にあたって大変な作業になります。学費が無償化になったとはいえ、授業料以外にかかる費用は年々多くなるため、この奨学金給付は喜ばれています。一人でも多くに支給できるように頑張つて行きます。

これからも将来社会に貢献できる優秀な人材育成の支援事業を肅々と進めてまいりますので皆様方の一層のご協力、ご支援賜りますようお願いいたします。

ご挨拶

三商同窓会 情報委員会

第22期 篠崎 清

昨年は新型コロナに悩まされたさなか、三商同窓会報59号を皆さんのご尽力のおかげで発刊することが出来ました。

しかし年々投稿記事が減少気味でしたので皆さんの意向を伺った結果、19期生の皆さんが88才を迎えられた記念に母校の思い出等を短文で寄稿して下さる事に成りました。

早速掲載させていただいた結果、好評でしたので同窓会会報グループといたしましては暫くの間、この方式を継続して参ることと致しました。

その結果として同窓会報60号には20期生の皆さんの

原稿を掲載させていただきました。次回61号は21期生の皆さんで来年ですので一人でも多くの投稿をお待ちしております。

尚、わたくしのお引き受けしております情報委員会に同窓会報グループが存在しております、そのグループ長を担当しております49期の岩瀬茂幸君に今までも、これからもすべて彼にお任せして行きたいと考えております。

と申しますのも彼は製本のプロですのでご安心ください。

22期の皆さんへ



コロナの今日は大変だったでしょう、お元気の事と存じます。我々22期生として何年顔合わせしてないだろうと写真を見直したら2020年2月に皆川さんのところが最後でした。

三商30会・30会ゴルフ等相談事が多々あると思いますので、お互いに連絡を取りつつ進めてまいりましょう。まだまだコロナの影響が大きいと思われるので無理をなさらないで元気に顔合わせできますことを願っております。

第20期生へのコメント

三商同窓会長

第31期 三浦康二

3年におよぶコロナ過が続く、同窓会の主要行事等も止むなき中止となるなかで、本年同窓会報60号が発行されます事は偏に20期の皆様の同窓会に対する熱意の賜であり同窓会一同感謝をしております。

20期の皆様は本年米寿をお迎えになりますが、お元気でお過ごしのことと思います。昭和25年に約490名で入学され、当時三商の競争率は約6倍、10クラスの中に女子生徒が32名で、今村第2代校長の時代に学ばれた先輩の皆様には、これからもちに御元気で御活躍されます事を願っております。

第20期特集

祝 米 寿

巻 頭 の 言 葉

第20期代表 河原啓介

私共20期生は戦後の教育制度変遷で中学卒業生が多く三商への入学生503名、このうち女性が30名、10クラス中、3クラスに女性が10名ずつでした。現在の三商の状況とは雲泥の差です。男子だけの学校へ女生徒が入学して先生方もさぞかし戸惑った事と思います。時代の移り変わりには驚いています。

特集号準備会について

第20期 松本隆治



20期同期会河原会長との会談で前年度同様今年度も特集号を組み上げるとの事で準備委員会のメンバーを河原同期会会長と高山組幹事を中心に組幹事から選び楠、裕行、出町、豊、菅波良司、橋本、敬、茂呂雅之、松本隆治が加わりました。昨年12月から本年5月まで、月二回三商同窓会館会議室を借用し検討会を開きました。一方三商在学時代の経験。体験。出来事。感想。エピソード等を書き綴って頂きたい。また小文。短文。俳句、等と思い出の写真もお届け頂きたい旨、会長名にてお願い致しました。皆々様のご協力に対し感謝いたします。

(最後に成りましたが土方事務局長及び白石事務局員の協力有って為し得た事も付加えさせて頂きます。)

一組

古い写真を眺めて

第20期 高山明雄

今回 同窓会報に掲載されている終戦間もないと思われる白黒ナツプ写真を先輩の方からいただきまし

た。
20期の卒業生で、今年米寿を迎える私ですから、数
年年上の先輩は鬼籍へ移行したと思われ

ます。
この写真をいただいた時に、もっと詳しく時代背景
から三商の状況、先生方の氏名など聞いておけばよ
かったのにと、悔やんでいます。

写真を眺めて、先生方の数が少ない様に思われます
し、整列の様子、服装、履物など如何にも戦後の混
乱、物不足、不自由な生活環境が垣間みる様子です。
スーツ、ネクタイ姿の中にジャンパー、軍服姿の先
生、足元の履物もマチマチ、整列の仕方も整然と言
う感がなく、如何にも雑然という感じがします。

この写真に写ってる今村校長先生、清田、吉住先生
の他に幸いな事に担任された先生の姿が眺められる
のが嬉しい

です。
一年三組 横尾一義先生、二年六組 竹田一郎先生、
三年一組 寺山勘重先生のお顔が眺められるのはな
つかしいです。

先生方と戦後の食糧不足、猛威を振るうインフレー
ションの嵐に苦しみ、不自由な生活環境にも負けず、
私共若者達への教育指導に情熱を注いでくださった
のには深く感謝いたします。

この古い写真をシートと眺めていると不思議にも60
余年の時空を超越して三商の学生の気分に戻って
先生方のお顔、表情、声までもが鮮明に見え、聴こ
えて来ました。

まだ混乱と不安定な世相の中、三年間明るく伸びの
びと屈託のない青春であったのだなあと振り返って
想い出しています。

現在に至る人生の中にあっても思い出深い実に貴重
なる三商学生としての時間でした。



想 い 出

第20期 樋田勝之

私達の学年は昭和25年4月に入学し、昭和28年3
月に卒業した20期生です。

入学した年の6月に朝鮮事変が始まり、一時は北朝
鮮が釜山迄押寄せその後は一進一退の状況で現在
に至った状態になっている。

入学した年は未だ戦争が終わって5年しか年月が
経過しておらず、まだ戦争の傷が残っていた。

学校には弁当をもって通学し、おかずが無い時はメ
ンチ十円、コロッケ五円を注文するような状態だっ
た。

学校が戦災に会わず建物が残ったことは幸いで
あった。

昭和26年2月に二・二六事件以来の大雪に見舞われ
た。近所の奈良君と学校まで歩いて登校した。学校
は当然休みだった。一休みしていると深川三中から
火の手が上がり、深川三中の校舎が完全に焼けた。
清田先生が出勤しており、窓を全部閉めるように指
示された記憶がある。帰日も徒歩で帰宅した。

26年の夏休みに学校主催で富士登山が行われた。当
時は富士吉田より登り、下山は御殿場口におりた。
初めて高い山に登り自信が
ついた。帰りの列車の席で
伴野・川端両先生と橋本君
と私と4人で話をしながら
東京駅迄帰ってきた。

私は昭和27年6月に盲腸に
なり、約半月位学校を休ん
だ。他は休暇をとらず3年
通学し卒業しました。



思 い 出

第20期 大埜昌一

入学1年の担任は竹田先生、あだ名はピラカン。先生本人からあだ名について説明があった。変わっている先生だなと思った。

時期は忘れたが、先生より山中湖、河口湖のハイキング企画があり同級生大勢参加。

初めて富士山を、しかも間近で見ることができ感激！

楽しい1日だった。ハイキングも初めてなので、企画してくれたピカテンに感謝。

70年たった今でもなつかしく、忘れない思い出。在学中いろいろアルバイトをした。その中で自転車にリヤカーを付け日本橋から、川崎、浦和くらいまで配達があり、かなりの重労働だ。そのような毎日だったので学校の授業中、時々居眠りしてた覚えがある。

思 い 出 の 記

第20期 楠 裕行

私が都立第三商業学校に入学した時は、昭和二十五年（西暦一九五〇年）で、戦後五年が経過した年でしたが、まだ戦後の気分が抜けない中で私は埼玉県の草加に住んで居りました。（当時は学区制があり、学区内の学校にしか入学が許されなかった。）本来ならば都立の学校に入学が出来ないので、商業学校に限り入学が可能だったのと、私の兄が三商に入学していた関係もあり、又私自身商が好きで、ソロバン、簿記等習得したい思いもあり、

三商を希望し無事入学することが出来ました。埼玉からの入学で、当時は電車が二、三分おきに来る時代でなく、電車の車両も、今程長くなく二両もしくはは四両で一時間に四本程の本数しかなく、今では想像もつかない位混んでいました。駅に着き今ではすぐに乗車出来ますが当時はすぐに乗車出来ず、時によつては三本目又は四本目位の電車にやっと乗車出来る状態でした。



やっと乗車できても各駅共に混んで居て、まともに時間通りに走ってくれず各駅でかなりの時間が掛かり、浅草駅で遅延証明書を貰うのも一苦勞でした。そこから都電で日本橋経由、深川不動で下車して通学して居りました。

普通なら楽に時刻に間に合う様に家を出たつもりが、東武電車と都電と遅延が多くありました。

私の中学から二名しか入学しておらず、最初は不安でしたが、すぐに友人も出来、楽しい学校生活を送る日々でした。

三商に入学して通学などで色々としが、それ以上に学校生活を楽しむことが出来ました。

今も、その時の友人と会って一緒に楽しい時間を過ごして居ります。三商に入学して今も本当に良かったと思つて居ります。

思 い 出

第20期 木曾忠男

一、この思い出作文をテーマが出された一緒にすぐ思い浮かんだのが親友3人との出会いでした。この3人との出会いがなければ私の人生は考えられない。当時三商校のクラブ活動になく新規に作られた、簿記研究部に入学することに話しが決まった。他からも当部に入学してきた仲間と運営方法など話し合った。一番重要は、簿記検定に合格するための仕方を話し合った。簿記科目の顧問の先生もついてもらった。

私は4人の中で一番頭が悪く、3人の友達からと顧問の先生から指導を受けました。また自分も教科書に準拠した検定試験模擬問題集など何回もくり返し

答えとの照合し誤りをみつけて勉強した。原価計算は計算の仕組み、勘定科目の内容に理解に時間をかけた。この簿記検定1級を合格すれば将来就職するのに有利と考えた。

いよいよ試験日を迎えて、受験した。

3人の親友と顧問の先生の支援を受けて合格することができました。みんなのお陰で感謝の気持ち、いっぱいでした。

二、珠算2級合格の思い出（高1〜高2のとき）

近所のソロバン塾に通って、日商珠算3級までは順調に合格したが2級は暗算があり、不合格でした。あるとき塾の先生が急に病気になり教えられなくなり、初級クラスの生徒に先生の代役を頼まれた。私は学校の授業を終えて代役をしてから自分の2級の特に暗算を練習した。なんとか高校に2年で日商珠算2級合格できた。半年後先生が体調回復した。その半年間はとても学校授業の勉強とも重なり大変苦勞しました。

三、就職試験の思い出

高校3年後半、就職決める時期となりました。私は就職先に製造業を探した。その中に自分の住んでいる東京月島の近く、しかも三商校も近いIH I石川島造船所があったので、第一志望に記入した。試験科目は、国語数学社会の他に事務系は珠算3級程度があり大変ゆうでした。試験発表は応募数が多く、10人に1人の割合できびしく祈る思いで合格発表を待った。いよいよ待ちに待った合格通知が自宅に届いた。最高の喜びを感じました。

四、会社入社後の思い出

入社一年目、タービン風水力事業の機械工場の個別原価計算を担当し決算業務した。二年目鑄造（鑄物品）を製造する総合原価計算を担当。三年目鑄造

部現場へ転籍し現場作業員の中に入り原価計算のものになる原始データから原始伝票作成までの仕事をしました。資料発注、購入、出庫と現場で汗まみれで働きました。その20年後に経理部復帰して、鑄鍛品原価計算の仕組み内容調査と改善業務。東京原価グループ決算業務と対外監査の対応（東京国税局との対応しました）。IH I会社を勤続33年目で退職した。その後IH I関連会社に就職し9年間務め会社生活42年間終えた。

五、米寿を迎える目標

デイサービスの文化祭に「般若心経」写経を出品する練習中。

写真同封⇒千葉県館山にて



（都立三商入学から米寿を迎えるまでの思い出作文を書きました。今後ともよろしく願います。
令和四年五月二十五日 乱筆にて）

二 組

想 い 出

第20期 大石（岡田） 叡子

昨日の事も忘れてしまうこのごろ 70年前の事今さら日常の生活とかけはなれているので、思うように書けません。

断片的に思い出しても文才もないので思うように文章にまとまりません。

ソロバンが出来なくて商業高校へ入学したのかと杉原先生の所に習いに行きました。同じクラスの奥野君が先生で、小学2〜3年の子供達と一緒におそわりました。

勝関橋が開いたのを見た時感激した事。都電を降りて学校まで遠かった事など。

初めて女子入学で雲上人今村校長先生に大事にされた事。アット云う間の3年間でした。

・・・木恵美子さんとお会いしてお互い思い出話をしました。

三 組

私の楽しい思い出

第20期 市川基治

三商に入学1年1組になり寺山先生で「テラカン」と呼んでいました。私は楽しい事に、最終時教室を

掃除する事になりましたが、私は埼玉県の吹上から通学の為、帰りが遅くなりますので掃除を免除してもらい、この様な決まりを大変うれしく思い実行された事に感謝しております。2年3年となり先生はお名前を忘れましたが、教育委員になられました。特に思い出は生物部に入りどうらんを持って小仏峠で植物を採り下山は相模湖で今は亡き青木君が楽しそうに泳いでいました。今は亡き高松君、青木君、立見君、長谷川君とは仲良くなり、卒業後私は三井銀行、高松君は安田信託銀行、青木君は三井信託、長谷川君はバンドマン、立見君は明治製菓にそれぞれ入り、又マージャン仲間として毎日の様に争ったものでした。今は皆、故人となり私一人がささやかながら頑張っております。年令をとると言う事は淋しいことですね。



1989.10.19 都立三商20期会 ロイヤルパークホテル於

都立第三商業高等学校 第20期の皆様

第20期 早矢仕昌男
代筆 長女裕子さん

米寿おめでとうございます。

父 早矢仕昌男は、現在、文章を読んだり書いた事が不自由であるため、大変残念なのですが、会報に投稿することができず、今後、ご連絡いただいても、お返事が難しいことをお知らせいたします。

父にとつての府立三商時代は、父の人生の中で最も輝いていた3年間だったと思います。私が幼い頃は、父がバレー部のエースアタッカーとして活躍していた時の写真や獲得したメダル等を見せてもらいながら、大会に出場した話などをよく聞かせてもらいました。

現在父は、特別養護老人ホームで、昔取った杵柄よろしく機械トレーニングやウォーキングで体を鍛えながら、健康的な毎日を送っております。

皆様におかれましては、どうかおからだを大切に、卒寿、白寿に向け健やかに過ごされますようお願い申し上げます。

令和4年 5月 吉日

私とバレーボール

第20期 出町 豊

私のバレーボールの原点は三商です。三商に入学生バレー部に入部して、そこから私のバレー人生が始まりました。当時の宇梶先生や部員の仲間達に心



※昭和24年、25年に入学したバレー部員

二列目 左から二番目が三商時代の出町 豊選手から感謝しています。

1964年の東京オリンピックに出場し、幸運にも銅メダルを獲得することができました。

しかし、当時はほとんどの人は男子バレーが銅メダルを獲得したことなど知らなかったのではないのでしょうか。と言うのも当時東洋の魔女と喧伝された女子チームが、宿敵ソ連を破って金メダルを獲得。国全体がその快挙の喜びに沸いていたからです。

男子バレーは完全にかすんでしまったのです。

そんな中でオリンピックの終了後、メダリスト達が天皇陛下ご臨席のもと宮中に招かれました。

その時、現上皇陛下、当時の皇太子殿下より「バレーボールはテニスに似ていますね。女子はボールが緩いのでラリーが続きますが男子はボールが早いのでラリーが続きにくいのですね。」とお言葉を戴きました。女子バレーが脚光を浴びる中で男子バレーも観戦していただいていたのかと感激したものでした。

女子チームの陰に隠れてしまった男子チームでし

※東京オリンピック表彰式
左、チエコスロバキア ヨセフ・ムシル選手
中央、ソビエト連邦 ユーリ・チエスノコフ選手
右、日本 出町 豊選手



たが、銅メダルまでの道のりは決して楽なものではありませんでした。

オリンピック開幕の三年前、チームの強化のため当時圧倒的に強かった東欧諸国に遠征しました。結果は二十二連敗。

屈辱的な遠征でした。

バレー協会からも酷評されましたが、私は負け続けたながらもレシーブ力が向上すれば彼等と対等に戦える感触を得ていました。と言うのも、日本バレーは

9人制方式で技術的にはクイック攻撃、時間差攻撃、平行トスなど高度なコンビバレーをしていたからです。

ただ問題なのはレシーブ専門の選手がいたためアタッカーのレシーブ力が極端に弱かったことです。屈辱的遠征後、レシーブ強化を重点的に取り組んだ結果、セッターへの返球率が向上し日本独自のコンビバレーが出来るようになりました。

オリンピック大会は十チーム総当たりのリーグ戦七勝二敗でしたが優勝したソ連を破つての第三位。我ながらよく戦ったと思います。

※背番号2、セッター出町選手のジャンプトス



第10回全日本都市対抗バレーボール大会

振り返ってみれば、日本の6人制バレーの黎明期に仲間たちと必死に努力をしながら、9人制から6人制バレーへの橋渡しをすることが出来たかな。そんな思いの東京オリンピックだったのです。(1964年東京オリンピック男子バレーボールチーム主将)

四 組

在学時の思い出

第20期 永須敏雄

約七十年前、今では想い出話、時々思い返します。記憶に残る想い出とは、若い時代の経験です。在校中の夏休みの間、初めてアルバイトを経験したことです。アルバイト先は教頭先生の紹介で先輩の経営する化粧品卸会社でした。夏休みの僅かな期間でしたが仕事は化粧品など、お得意さんへの配送業務でした。他の従業員と同じようにならない自転車でリヤカーを引いての得意先(化粧品小売店)廻りでした。

配送先は新橋・品川方面で国道1号線沿いの小売店舗で今ほどではないにしても交通量の多い地域を通つての配送でした。朝礼が終わると一斉に出発です。始めのうちは、慣れない道を地図を見ながら、時には道を間違えたりしたこともありました。毎日、暑い日は汗びっしょりの帰路、楽しいことも辛いこともありましたが、それでも何とか、無事勤めることが出来たのでホッとしたのを覚えています。

若い時の経験は一生忘れません。学校では教えてくれないアルバイトで学んだことは責任感、臨機応

変な行動、ミスに対する対応、マナー、笑顔の大切さでした。その後の人生に役立っています。

今想えば苦勞もあつたが、良き時代であつたとおもいます。

今年、米寿を迎えることが出来た幸せに感謝します。最近、私も体力の限界を感じるようになりましたが、これからも残された人生、元気で楽しく過ごしたいと思っています。



昭和53年5月25日 三商二十期同窓会 於 芝公園レストランパークヒル

五 組

「男と女」

第20期 黒田宗博

映画好きの人でなくてもある年代以上の方なら覚えておられるでしょう。アヌーク・エーメ主演で数々の賞に輝いた名画ですが、これから綴ろうとしているのはこの題名とは無縁な芸術性のかけらもない話です（ので悪しからず）。

三商に入学して最初に意識した（というよりも）せざるを得なかったのが、この言葉でした。

なにしろ同校の歴史上、初めて一学年から女子生徒を受け入れる体制の発足となり、ふたを開けてみれば500人あまりの新入学生の内、30名の女子が2クラスに編入された年次でした。

その内の一クラスに自分の名前があつた時の驚きは今も鮮明に覚えています。自分のせいでもないのに、男子ばかりの他の8クラスの同級生の手前、肩身が狭く、心の中で身の不運？を嘆いたものです。

今の人には信じがたい話ですが、「男子7才にして席を同じうせず」をモットーとするような、現代風に言えばジェンダー・バイアスが極度にかかった身でしたから晴れて高校生になったと言う様な高揚感が一気にしぼんでしまいました。

然し、世の中はよくしたもので僕のような初心ウブな生徒数人を見つけた「おませ」な二人のクラスメートが、お昼の弁当が終わった頃を見計らって教室の黒板を使って僕らに「性教育」を施し始めました。その内容は、今想い出しても大変にまじめなもので「赤ちゃんはどうして生まれるの？」など文字通り当時の僕らにとっては「目から鱗が落ちる」ものでした。これが本格的な僕のその後の人生での「男と女」の意識の始まりになったのは言うまでもありません。

かくして、我が高校一年の思い出は「性教育」で占められたのであります。当時、熱意を持って教育に

当られた諸先生には誠に申し訳ない思い出になりましたが、この年次の卒業生の総代は奥野君と岡文子さんという優秀な「男と女」のお二人です。

思 い 出

第20期 柳沢広繁

私が三商に入学したのは、私の希望というわけではありませんでした。中学校の担任の先生から「三商は就職率100%で素晴らしい学校」と勧められるままに受験して、そのまま入学したのです。（今の子どもたちは自分の考えで受験する学校を選ぶようですが、その点では当時の私よりもしっかりしているように思います。）

入学してまず驚いたのは生徒の数です。当時は中学卒業後すぐに就職する人も多くいましたから、10クラスという数にはびっくりしました。そして、多分10%以下であろうという女子生徒の少なさにも。

入学して私が選んだ部活動はバレー部でした。当時三商バレー部は優秀で、後にオリンピック選手に選ばれた人もいたと聞きます。しかし入部してみると部員も多く、バレーのバの字もないままに部室で勉強・・・という日々。（当時はいろいろな部員がいました。）なにか話が違ふなと思ひ、たちまち退部して今度は卓球部に・・・と思ったものの満員で入部することができませんでした。やむを得ず、他校の卓球部で練習をさせていただいておりましたが、2学期になり秋も深まったところに先生に他校の生徒であることが露見してしまい、残念ながら出入り禁止に。

私が自主的に練習に参加していたその学校は元女学校で三商とは反対に女子生徒が多かったので、出

入り禁止になった後、三商の卓球部に「一年生の新人対抗戦をしたらどうか」と持ち掛けてみました。すると先輩たちが大変乗り気になって、その対抗戦を企画実行した縁で私も晴れて三商卓球部の入部許可が下りたのです。以降は私も晴れて卓球部員として、卒業までお世話になりました。

三年間の高校生活の中で今でも悔いが残るのは、「精勤に該当する人は手をあげて」という呼びかけに、該当しないのに冗談で挙手して賞をいただいてしまったことです。本当に申し訳なく思っています。後悔だけでなく、もちろん良い思い出もたくさんあるのですが、残念ながら共に思い出を語る友人も少なくなり寂しい限りです。

近況…十病息災というべきか、未だ自転車で会社と自宅を往復する毎日をありがたく思っています。電話で原稿依頼をいただいたとき「三商時代の思い出を書いてくれ」とだけ聞いて簡単に引き受けてしまいました。こんな思い出話で良かったのでしょうか？不都合なことがあれば遠慮なくボツにしてください。

懐かしき母校を想う

第20期 菅波良司

昭和25年4月、忍岡中学の仲間四人と共に入学。1年は3組「横尾一義先生」。2年は、進学を志し、8組「志鎌正雄先生」に学ぶ。3年時は家庭の事情で、就職クラスの5組「諸岡理司先生」の指導を受ける。卒業後のクラス会に「諸岡先生」をお招きして楽しい時間を過ごしていたが、「諸岡先生」が逝かれた事と、その後、幹事役の「八十田隆君」が亡くなった事もあり、クラス会の開催は先細りとなり、

寂しい限りだ。



在学中のクラブ活動は、「卓球部」に入部。練習前の体力強化の「ウサギ跳び」が一番辛かったと記憶している。対外試合の成績は、芳しくなく、後輩に託して卒業。他の体育会系では、オリンピックにも出場した「出町豊君」が所属する「バレー部」は、全国制覇して、花形だった。在学中の体育時間は結構真剣に取り組んだお陰で、就職後には大変役に立った。昭和28年卒業後、住友銀行に同期生4人と入行。銀行では、店部対抗と称して、陸上競技、野球、バレー、卓球、バスケットボール、サッカー等が行われ、新人の我々は、すべての競技に参加させられた。



三商時代の体育授業が大いに役にたったと思う。5年間の支店業務の後、昭和33年4月、大阪本店勤務を命じられ赴任。仕事は、電子計算機のシステムエンジニアとしての勤務でシヤニムニ、プログラミングを習得して、銀行業務の電算化に取組む。5年後、東京に戻り、東京地区の電算化を進め以降、定年退職までと、再就職コンピュータ関連の仕事に携わり、70歳まで勤める。

20期の評議員は私と大嶽正俊君とで担当。20期の窓口として現在も参加している。

評議員会、新年会、校歌祭、周年記念行事に、同期生と共に参加して、同窓会メンバーと交流に努めている。一番の楽しみは、毎年10月に行われる、「校



歌祭」だ。

「校歌と「応援歌」を腹の底から歌い、我が母校、三商を愛でることだ。この後の同窓会メンバーと傾ける「一杯」は最高に旨い。

最後に一言、14年前に「河原会長」に頼まれて卒業後55年目の「同期会名簿」を作成した事だ。平成20年8月1日発行日。今でも愛用している。しかし、14年も経ち、八十八歳となった今、健在者がどれだけいるのか心配だ。

我が母校「都立第三商業高等学校」をいつまでも“誇り”に思っていていきたいと思う。

頑張れ三商、頑張れ三商、ふれっ・ふれっ・振れ！

想 い 出

第20期 鈴木邦夫

昭和二十五年三商に入学した当時、合格発表が予定時刻より遅くなりました。戦後、教育制度の改革で六三制となり、新制度で進学者増加、また実業高校は学区指定が無く、三商の知名度が高かったこともあって応募者が多かったようです。学校側としては、応募者の気持ちも組んで定員の増枠について、当局と折衝していると聞きました。

結果は、学校側の努力が実って増枠が認められ、私たちは、他学年よりも多い仲間と勉学することが出来ました。当時校長の今村先生はじめ折衝に当たられた方々に感謝する次第です。

因みに、学校には二、三年の先輩方がおられました。私達は新制度による第一期生です。教育制度の改革で昭和十六年には小学校が国民学校となり、卒業時にはまた小学校に戻り、新生中学がスタートしました。私達は、常に教育制度の改革の実施で一番目でした。

これも何の巡り合わせでしょうか。在学中に三商は実験学校の指定を受けました。

通学は、徒歩通学でした。自宅からは距離が十分ありましたが、予定していたバスが不安定で思い切つて歩くことにしました。雨や風、台風の日もありましたが、同行者もいて三年間通いました。今思い出しても、辛いという記憶がありません。

登校しての第一印象は、校庭の広さでした。中学は発足直後の間借り施設で校庭が狭かったため、余計三商の校庭の広さが記憶に残っています。ただ、そこに当時はプールが無かったことも不思議でした。

週番制度があつて、遅刻すると校庭一周だと言われ、遅刻しそうな時は一生懸命校舎へ向かつて走ったこともありました。

週に一回朝礼があり、全校生徒が校庭に整列し学校からの訓示や通知等を聴き、生徒会からの報告もなされました。私も生徒会の書記長を務めたとき報告をしました。朝礼台の一番高い所から一千人超の学生の整列を見るのは壮観でした。マイクはあつたと思いますが、校庭の先は川で音声の反響が無く精一杯声を出さないと吸い込まれてしまうような感じでした。

当時日本経済は戦後の復興期で、竹馬経済と言われていました。そのような社会環境の中で、多くの学友達と三商で恵まれた高校生活をエンジョイできたことは幸せでした。

今村先生が、諸君が将来日本経済を担う中堅として活躍することを願っていると、言われたこと覚えております。

20期生の米寿特集号に向けて

第20期 降旗 弘

私は一年（生）の時は7組になり、担当が英語担任の太田浩先生で出席簿がアイウエオ順で八行はハニ春田（神田司町の印刷屋の長男）ヒニ平松（当時の千束町の料亭の長男）フは私降旗で（日本橋浜町の呉服商の長男）と名簿順になって居りました。為、以来この三人で卒業後も就職・進学と進んだ道は違いましたが他界するまで交流致して居りましたので、二年・三年時の友人は殆ど居りません。後年向島在住だった「八十田隆兄」より連絡頂き以後2回程「3年5組」のクラス会なるものに出席致しま

した。皆初対面の方々ばかりで殆ど会話無く終わつた次第でした。斯様な訳で学友との思い出などは前出の春田・平松両氏の事だけなので特筆すべき事柄は有りません。

河原様在住の「花川戸」と言えば履物の町として有名ですが、サラリーマン時代二天門のそばに有った「酒井直造商店」なる靴屋が有り、江戸時代の「越後屋（現在の三越伊勢丹）」の様に売場が「タタミ敷」で何足かこの店で靴を入手した事が有りました。

～ 私 の 佃 島 ～

石川島の先の相生橋を渡ると「越中島」で私は今でもそこに有る高校に通っていた。

隣は戦後接収など有ったが元の商船大学に戻り、記念の帆船も保存されている。

佃島の「船溜り」のスケッチだが、正面の高層マンションは全て石川島造船所の跡地に建てられたものである。昼休みに学校の屋上から下流の「勝どき橋」が開き、新造船が通って行くのを見た記憶がある。扱て、佃の船溜りだが、今から三十年ほど前までは

「引き潮」になると「ヘドロ」に埋った廃船などが異臭と伴に露出して無様な状態だったが、その後本流にある水門迄が浚渫され、中央の朱塗りの橋や瓦屋根のトイレなども新設されて立派になった。

又水門脇には築地の聖路加病院協間に有った「佃の渡し」の碑も建っている。

路地裏の長屋も風情を残している。



七

組

今村校長先生のこと

第20期 藤田昭二郎

思いがけず都立三商の思い出について綴る機会を頂戴し有り難うございます。卒業後早七十余年が経ち記憶も大分ぼやけてきておりますが、思いのままにお話しさせていただきます。

三商を卒業後、就職をいたしました会社に、或る日、当時の校長で後に都立商科短期大学の学長になられた今村直人先生が、会社の先輩で三商十二期生であった小平先輩を訪ねて来社されました。ご用件は三商女子学生の就職の斡旋でした。しかしながらその年は諸般の事情により新卒の採用を見合わせる事となつてしまい、折角の校長先生からのご依頼でしたが、これをお断りせざる得ない状況となつてしまいました。

本来であれば依頼を受けた小平先輩がお断りするの筋だったのでしようが、多分、ばつが悪かったのでしょうか、後輩の小生に断りに行くよう指示されました。何故小生が行かなければならないのかと思いましたが、社命とあればこれに抗うことも出来ず、渋々先生のお宅を訪ねることとなりました。

当時、先生のお宅は杉並にあり、お邪魔をすると先生は仏間で読経をされておられました。聞くともなく読経を聞きながら、先生にどのようなお話しようかと思案を巡らせておりましたが、実際に読経を終えられた先生とお話した際は、しどろもどろとなつてしまい、取り敢えずお断りの主旨だけはお伝えし、這々の体で先生のお宅をお暇したことを覚

えております。

今村先生も小平先輩も鬼籍に入られ久しいかと思ひますので、このようなお話をさせていただいてもお許しいただけるかと思ひ綴らせていただきました。

八

組

自家営組の思い出

第20期 米山 孝

先般、川原君より三商のマーク入りの封筒が届きました。どうせ碌な事は無かろうと恐る恐る開封した処、予感的中在学時の思い出を何か書いてよこせとの事。なにしろ七十年前も前のことにて記憶も朧ろ、大変迷惑しております？

そうこうして居るうちに、五月七日の朝、起きる時、腰に激痛が走り、到頭一週間、寝返りも打てぬ状態で寝込んでしまいました。矢張り年には争へぬものですね。まだ多少痛みが残っているのですが、原稿用紙も届いている事にて仕方なく書いて居る次第です。

閑話休題、

本題に移りますが、入学以来、一年、二年と年を重ね三年の組替の際に、問題が起きました。我が組は八組でしたが、他の組は進学組と、就職組でした。我が組だけ自分の家の事業を継ぐ生徒を集めて、自営組としたとの事。担任は上原孝吉先生でした。決まると早速、清田教頭先生より呼び出しがあり（教頭先生に呼び出されると碌なことは今までもなかったの）恐る恐るお伺いすると先生曰く「此の度の試みは、我校にとって初めてのものである。因つて、何としても好成績を揚げねばならん。目先、進学も

就職の試験も無いのだから一番楽で良い様だが、考
え様に因つては、一番難しい組である。自主的に考
え一生懸命に勉強せねばならんぞ!!教室に戻つて皆
に左様に伝えて置く様に。」との事で、何やら解ら
ぬまま、ほうほうの体で帰ってきました。そして初
めての課題として、我校事業で大成功を収めておら
れる大先輩にお願いに行き、経営のノウハウについ
て御伺いする可く、上野のアブアブの創業者小泉様
と三越本店の営業部長様に御講話をお願いして来る
様にと仰せ付かりました。何せ此の様な大役は初め
てで、恐る恐る社長室に参上し平身低頭お願いしま
した処、お二人共、快くお引受け下さり、その上美
味しいコーヒー迄御馳走頂き、ホッとして帰校して
来た事が今でも忘れない思い出です。

後日、お二人共、御来校頂き貴重なお話やら又、常
識では信じられない様な裏話やハプニングをユーモ
アを交えて御話頂き、流石に大勢の社員の皆様を束
ねていらつしやる経営者は違ふなど存じ上げ実に勉
強になった事が、なつかしく思い出して居ります。
(勿論、学校よりお二方をお願いしてあつた事と思
います。)

九、十組

都立三商との出会い

第20期 河原啓介

都立三商を知ったのは、親戚に日本橋5期の吉川恵
三さん、台東区の15期瀬川輝雄さんがいて、商人に
は適した学校であることを知っておりました。先輩
に知人には、10期鳥井徳夫先輩、12期木村秀司先輩、
15期永野章一郎先輩他、多数いらつしやいました。

〓都立三商第二代校長 今村直人先生に学ぶ〓
昭和26年4月から昭和28年3月までと卒業後99才
まで、長期にわたり、ご指導をいただき心から感謝
申し上げております。

人に対して①嘘をつかないこと、②受けた恩を忘れ
ないこと、③約束を守ること、④人に親切にすること。

企業経営者に対しては、将来の人生航路に於いて、
一大難感に出会うことがある。どんなに苦しいこと
でも、避けて通らないで、真正面から戦つてほしい。
私心のない正義に立脚した信念に向かつて邁進する
とき、いかなることも成し遂げられないことはない
(体験談として)

〓都立三商五代校長 清田栄一先生に学ぶ〓

昭和26年4月から昭和28年3月までと卒業後84才ま
で、長期にわたり、ご指導いただき心から感謝申し
上げております。清田栄一先生の教えは、限りなき
前進、最善の努力、であります。

清田栄一先生は、卒業後の生徒のアフターサービス
で、生徒の近くに用事がある時、気軽にお寄りいた
だき、ご指導をいただきました。その場合、電話で
打合せいただき、在宅をしているか、いる場合、辨
当持参で、お見えになります。本当に生徒のことを
思つての行動に頭が下がる思いです。

三商の思い出

第20期 鈴木昌雄

聞取り代筆 長女 慶子さん

〓人生の転機(友人達と太田先生との出会い)〓
私は下谷地区で青果業を営む次男として生まれま

した。戦時中は母親の実家(栃木市)へ兄弟と共に
縁故疎開しましたが、父親は当時、下谷地区の八百
屋を統合して青果物の集配部長となつたため单身東
京に残りました。

住居は西町小学校の東側にあつた長屋の一軒です。
ここは1945年3月10日の東京大空襲で焼け残つ
た地域です。私は、物心ついた時から浪曲「森の石
松」や「新国劇」が好きになり中学校を卒業したら
浪曲師になりたいと密かに思つていました。しかし、
両親の勧めもあり、将来家業を継ぐにふさわしい学
び場として三商へ進学しました。

まず三商(江東区)へ通うことで視野が広がりまし
た。特に友人は浅草の履物業(鷺津氏)、墨田区の
メリヤス業(倉島氏)等城東地区で商売をされてい
る子息が多かつたです。

そして、私の三商での大きな転機となつたのは太田
浩先生(英語)との出会いでした。太田先生と出会つ
て「英語」を学ぶ楽しさを知り「英語」が大好きに
なりました。

「浪曲」と「新国劇」で培つたジョークがやがて「英語」
のユーモアとリンクし、私は英語学習を自主的に進
めていきました。川端康成の「雪国」の英訳への挑
戦や、W・S・モームの短編小説の読耽…。当時
読んだアメリカの英語の小説には次のような内容の
ものがありました。社会に出てから女房はもとより
世間の人に馬鹿にされ、定職につかず職を転々とし
て40歳を迎えた男がいました。この男が道路の工事
人夫に雇われ、親方から車の交通整理を命じられま
した。ところがどうでしょう。彼が旗を挙げるとそ
の度に車が止まつたり動いたりするではありません
か。車のゴー、ストップが全て彼の旗の上げ下げで
決まるのです。世の中のものが彼の意思で動くなん

て今まで思ってもみなかったことでした。これはこの日の大発見で人間がすっかり変わり、努力によって会社を作り、人生の後半を経営者として過ごすのでした。

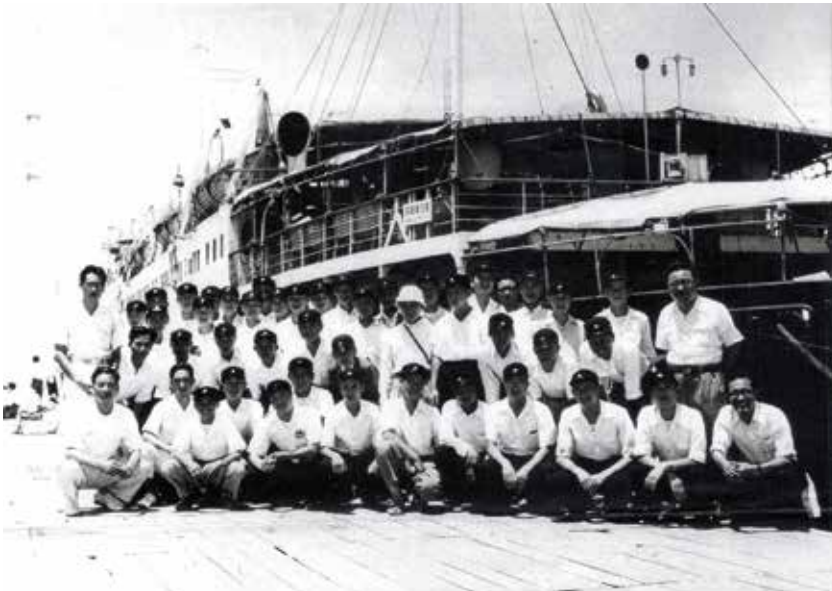
そして私にも、人生の転機が在学中におとずれしました。入学当時は思い及ばなかった進学への道を太田先生がすすめてくれたのです。太田先生をはじめ三商の先生方（清田先生、横山先生等）の出会いと後押しがなければ、両親の了承を含め進学は叶わなかったと思います。そして慶應義塾大学法学部へ進学することができました。三商の友人（黒田氏、五島氏、岡氏等）との親交と大学の友人との接点を交え、現在も彼らは江戸川柳（大学を出た後に学ぶ）と共に私の心の支えになっています。

本当にありがとう、三商。

三 商 の 思 い 出

第20期 中川裕司

私は、昭和二十五年四月第三商業高校に入学し、一年四組珠算の杉原先生のクラスに組入れられました。



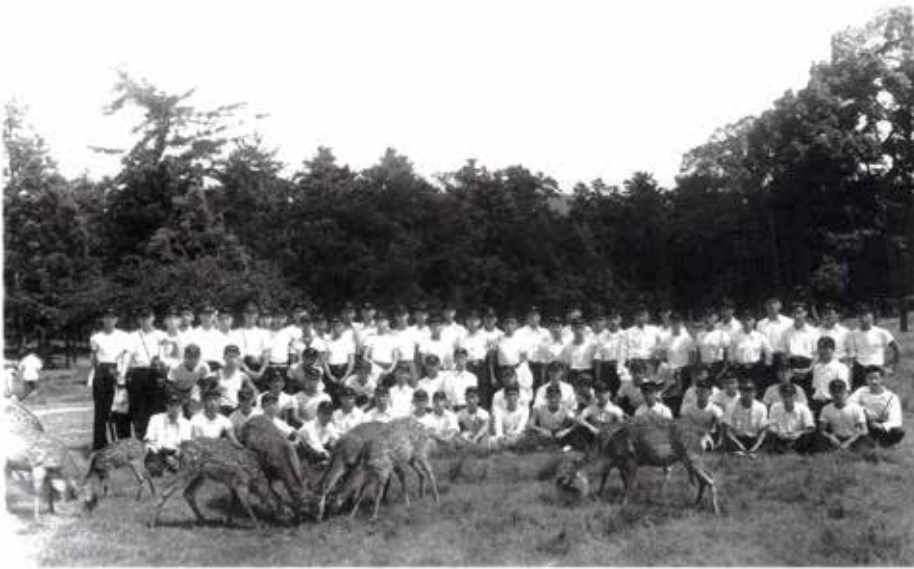
当時、小岩に住んでいたので、JR総武線で小岩から錦糸町駅に行き、都電二十八号線に乗り換えて、不動尊前で下り三商まで二十分くらい歩き、片道約



一時間位かかり通いました。

思い出として、二年生の昭和二十六年七月清田教頭先生に引率され、約五十名芝浦竹芝棧橋から、橘丸に乗り房州館山に一泊二日の海水浴旅行に行ったことと、昭和二十七年三年生の春、奈良、京都、大阪への修学旅行に行った事が、楽しい思い出に残っています。

三年生は、太田先生の九組で勉強しているかと発破をかけられた一年でした。



思い出

第20期 山本英輔

- 入学時の丸坊主が 夏休み明けには みんな（僕も）長髪に伸ばしていました。
- 近くに米軍が駐屯しており 時々 米兵が講堂にきて 上級生に柔道を挑んで投げられるのを やしたてたものです。
- その後 警察予備隊（自衛隊を発足当初称したと思う）が 学校の前を行進するのを 屋上か



三商を目指していた時代から卒業する迄

第20期 松本隆治

- ら声をかけ ひやかした？ので学校に苦情が来たそうです。
- 金森徳次郎氏（国務大臣 新憲法担当）の「憲法」の講演。
- 山本東次郎氏（能狂言師）の「能落」の解説と演舞
- この2つの講演は貴重な思い出です。
- 改めて 良い学校でした。
- （注）米軍や警察予備隊の施設は 現在の何処になるのでしょうか。

私共三商20期生として入学する迄の日本に於ける教育は特異なもので、昭和15年幼稚園児の時に紀元2600年の祝賀会が有り東京市内を縦横無尽に走る市電に花電車が運行され幼稚園児も提灯行列に駆り出され、折しも勝鬨橋が開通しました。私も子供の頃大きくなったら何に成りたいと聞かれると異口同音に男の子は軍人さんと答えていました。陸軍・海軍どつちと聞かれると、日本にはまだ空軍省は無く海軍と答えたものでした。今、中央卸売市場は豊洲に移転しましたが、その跡地は元々海軍の基地でした。日本海軍発祥の碑が築地に有ります。

横須賀に海軍の基地を移しても、海軍経理学校は、そのまま築地に残りました。その学生達が鍛錬の時間に大型のカッターを隅田川で漕ぐ姿や海軍式敬礼の良さが子供ながら格好良く印象に残り、思いは海軍経理学校⇨商業学校⇨ピカ1の憧れの学校「府立

第三商業」と夢は膨らみました。小学校6年の時、新育制度6・3・3制に変更され第三商業高校と成り小学校卒業では受験できず新制中学校を卒業しアチーブメントテストで良い成績を取らないと合格しない学校の一つでも有りました。

三商に入学し、今村校長・清田教頭をはじめとして立派な教諭陣が揃って居りました。そこで、君達の親の商売は第二次産業に属していると思うが、戦勝国では第三次産業が台頭している、と教わりました。三次産業とは何だろう？厚かましくも清田教頭先生に聴きに行きました。答えは街には看板が見当たらない名前の職業とヒントを教えて頂き君なら良く考えれば解るはずだよと、お言葉を頂戴致しました。今でこそパソコン・スマホ等のインフラが整備され第四次産業が生まれている時代から見れば答えは簡単ですが？

いみじくも当時TVの実験放送をする為の試験放送が砦の放送研究所に微弱な電波で、初めての許可が電波監理局より下りたと新聞に出ました。

これだと判断し自分の進む道を決めたのも、今があるのも都立第三商業高校の教育の賜物でした。

公立の普通高校が有名大学に入学する為の予備校化している現在、都立第三商業高校は進学・自営・就職を問わず優秀な人材を多方面に送り出す教育を実施しているからと考えます。有り難う御座いました

昔の先生

第20期 桜井義男

敗戦で国がひっくり返り、末は博士か大臣大将か、これが戦犯、追放になり、下町のオヤジ達はこれからは立身出世より商いの才覚、手に職を付けると、

普通高校より実業高校の墨工や三商に行けと、私の卒業した両国中学からは本所深川の近さで三十名位三商に入りました。私の大切な仲間です。社会人になり一期生として両中同窓会を立ち上げた時、力を合わせたのがこの三商の仲間でした。

全卒業生五千人くらいの頃に両国公会堂に千人近く、びっくりしました。挨拶は会長、校長のみ、久しぶりの友との談笑の時間をたつぷり、それが好評で以来五年毎に開いています。

実は私の長兄も昭和九年に三商入学です。初代吉沢校長に心服した父が三商はいい学校だからお前も行けと。

正しい商業の発展は平和の礎であると説く吉沢校長は昭和十四年にお亡くなりで、三商ばかりでない日本中の学校が軍国教育となり昭和二十五年の三商はその残影で暗かったです。

可哀想で気になったのが、少年兵、特年兵から生還して人生再出発しようと復学した人達でした。世間は冷たくお国の為に命をかけたのに、敗戦で手のひら返し、特攻、予科練崩れと腫れ物扱いでした。

私は話が聞きたくてそれらしい三年生に近づきました。彼等がたむろしてた部屋は煙草モクモクで二十歳過ぎの彼等には一年生は子ども扱いでした。それでもやさしかったです。「戦争を心底から反省していない、政治家、教育者がのさばっている、だまされるなよ。」とうめくように話してくれました。忘れられない人達です。

入学してすぐに朝鮮戦争が始まりました。また戦争かと、私は本当に怖かったです。

私の家は昭和十九年夏に山梨に疎開したのですが、二十年一月に村の大火事に巻き込まれて仕方なく東京に帰って来て、三月十日の東京大空襲で地獄

を体験させられました。

炎の中を逃れてる私に大人の、それも大男が倒れて来て下敷きになり、もがいて抜け出すまでの十数秒ですが、もはやこれまでと、こんなことで十一才で死ぬのかと。ものすごく悔しくなり、戦争で亡くなった人達はさぞかし無念だったと思います。

最愛の大切な姉二人を失いました。それに伯父伯母従兄、やさしい人達でした。あれから何十年たっても悲しみと悔しさは年と共に増すばかりです。

戦争は対岸の火事ではありません。あつと云う間に身にふりかかるのです。戦争して攻められるものでない、戦争だけはしてはいけないよと、若い人たちにぶつぶつ云ってます。

朝鮮戦争が始まると、商船大学を占拠してたアメリカ軍は出撃して行きました。若い兵士たちが可哀想でした。アメリカの再軍備の要求を、吉田茂首相は平和憲法を盾にかわしてました。戦争に負けても外交で勝つと、以来七十五年、日本は平和を守っています。ウクライナ戦争も、うまく処理する外交政治家がいらないものかと、愚かな老人は思案中です。

三商の三年間はキナ臭い時代でしたが、十代の若さははじけてました。友達も両中に三商がまざり、他行の連中とも輪が広がり、とにかく賑やかな高校生活でした。

後年、三商同期の関政男君と、両中同期の長千枝子さんが結婚しました。ナント、私の家にたまたま正月遊びに来てて知り合ったそうです。深く静かに潜航して愛を育み、いきなり結婚式に招かれたのはびっくり仰天、何とも素敵なカップルでした。悲しいことに関君は去年暮に亡くなりました。淋しい限りです。

重苦しい何やら暗い三商でしたが、救いは清田先

生の存在です。おらかな暖かいお人柄は、三商最古参と伺い、吉沢時代の面影を感じました。

両国中学初代校長の千葉義美先生も、その頃の三商の数学の先生でした。昭和二十二年、新教育制度で校舎のないままに発足した両国中学の校長になったのです。他校に一年半居候して、廃校の焼跡を修理して校舎にしましたが、運動場がテニスコートより小さく、隣接の電電公社の焼跡の更地をグラウンドに払下げてもらおうと、夏休み返上、たった一人で払下げ嘆願書の署名集めを、通学区域を一軒ずつ炎天下廻ったのです。結果は駄目でしたが、その姿は親達や生徒達の心を打ちました。

十代の生徒たちが体を鍛錬するグラウンドは学校の命だと、これは三商の初代吉沢校長の信念と同じです。吉沢校長の熱意にこたえて、当時の父兄会がグラウンドを寄付したそうです。当時の親達は凄かったですね。

私達が卒業後、この生徒達の命のグラウンドが他校の臨時校舎の為につぶされたと聞いて嘔然としました。当時在学中だった私の町内の老友は最後の学生生活をつぶされたと何十年たっても思っています。

両中の千葉校長は辛い中学生生活の一期生にせめて校歌を歌わせたいと、これが卒業寸前に出来まして、卒業式で一回歌ってさよならしました。作曲芥川也寸志、作詞佐藤義美、佐藤さんは吉沢時代の三商の国語の先生でした。新進の童話詩人で、童謡「グッドバイ」がレコードになり全国的に歌われましたが、軍国教育に敵性語は怪しからんと発禁になり、理解者の吉沢校長も亡くなっていた三商からは追放されました。戦争中は筆を折ってましたが、戦後、元同僚の千葉先生から新制中学の校歌を依頼され奮い立ち、新憲法の精神を盛り込んだ世界に通じる校歌を

作詞してくれました。両中生が誇り高く歌いついでます。後年、童謡「犬のおまわりさん」が大ヒットしました。郷里の竹田市に記念館があり、私は電話で三商在職中の話などを館長さんに伺いました。思えばそろそろ百年前になる、昔の先生、吉沢先生、清田先生、千葉先生、佐藤先生、三商の素晴らしい先生でした。先生達の子供達を思い心の流れは、戦中戦後の荒れた世の中でも清い底流となり、私達にまで流れているものと感じます。

代表河原さんに向けて

河原啓介様

冠省

「20期特集」に関する貴翰、落掌致しました。今更乍ら卒業以来長年に亘り幹事役として、その任に当たられて来たことに心より敬服、感謝する次第です。小生、菲才にて寄稿は拝辞させていただきますが、同封の切手は通信用の一部としてお役に立てば幸いです。

今後共、御健勝にて一層の御活躍を期待しています。

謝、乱筆

令和4年5月18日

5組 極老 澤橋

☆ “命、旦夕に迫っています。

河原兄に感謝！

逝く人を送り

悲喜交々に

米寿迎う

浅川啓吾 7組

河原さん お互いに米寿を迎える今日迄 本当に長い間 お世話になりました。

今後共 元気に頑張つて活きましよう。

「三商と読んでうれしく 胸おどり 若さ溢れてときめき続く」 本当にありがとうございます。

4組 上野

河原さん お互いに米寿を迎える今日迄 本当に長い間 お世話になりました。

今後共 元気に頑張つて活きましよう。

「三商と読んでうれしく 胸おどり 若さ溢れてときめき続く」 本当にありがとうございます。

10組 山本英樹

鎌倉の一隅で、老夫婦それなりに暮らしております。

5月10日

2組 高梨 保行

清田栄一先生の想出話

第20期 匿名にて

今年米寿を迎える卒業生です。

先生の想い出、記憶、印象は在学期間中よりも卒業後に断片的にお目にかかった時一瞬の事柄の方が深く感じ入り覚えていきます。

1、清田先生 毎朝JR錦糸町駅で下車し都電²⁸に乗換え富岡町へ、学校まで少々歩き応えのある道で先生と出会う時がチヨイチヨイありました。

遅刻しそうな時は速足で追い付き抜いて行くと「走れ！遅刻するぞ」叱咤激励の声をうしろからよく耳にしました。

2、社会人になって芝浦を車で通り、羽田方面へ取引先へ出向く時、芝浦商業校長室へ立ち寄った時がありました。

清田先生、昼の給食を、お子さんを連れて来ていた娘さんと一緒に食事をされていました。「給食、食べていらないか」と誘われた時がありました。先生の好々爺の笑顔が印象的でした。

3、清田先生が三商の校長として戻られた時、弊社へ就職する新潟出身の女子中学生、夜間部のある高校へ進学を容認してくれるのを条件として上京してきました。既に追加募集をもぐ切った後でした。困惑し、校長室へ行き清田先生に何とか入学許可をして欲しいと懇願に出向いた事がありました。

4、山種美術館がまだ兜町にあった時、社長が個人的に蒐集した日本画の名作を展示している会場。

人影も少なく、静かな会場で名画を鑑賞していた時、聴き覚えのある声が目に入り声の主を探したら、ソファアに腰をおろし同行している女性（ご家族の方か？）に「あの絵の作者名を確認して欲しい」と話していました。

先生とは久しぶりの巡り会わせであり、ご挨拶を交わしました。

この時も別れ際には「20期の諸君に私より長生きをせよ」伝言を頼まれました。

5、専修大学付属松戸高校校長として在任中の時、この学校で数学の先生として勤務している兄さんが清田先生にご挨拶に行きたいというので、

同行した時がありました。同時に、良いお嫁さんを紹介して欲しいとお願いに行きました。

6、平成5年8月12日 84歳。清田先生永眠され市川霊園に葬られています。たまたま、我家の墓地とは極く近くで、先生の墓石が眺められます。

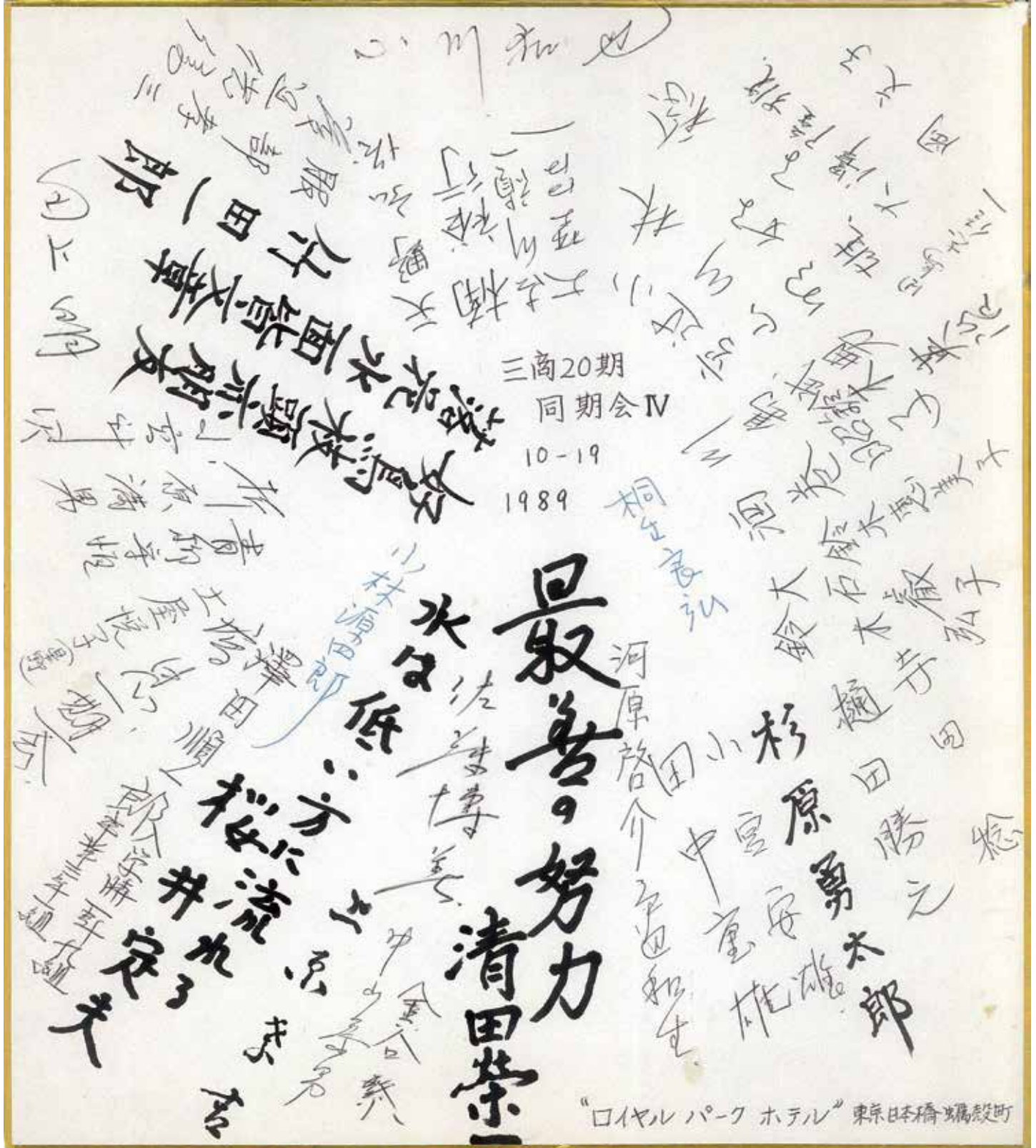
墓参に出向く時は必ず先生のお墓も参拝してきます。

直近の世界、日本の政治、経済の動向をご報告してきます。

清田栄一先生の指示に従って、先生を超越し、馬齢を重ねている昨今です。

思い出の写真集&寄書





[illegible]

都立三商 20期同期会 卒業50周年記念 於 帝國ホテル 平成15年7月6日



都立三商 20期同期会 卒業50周年記念 於 豊国ホテル 平成15年7月6日





寄稿・エッセイ



ベルリンで

ビールといえばドイツは本場。ベルリンのデパートの食堂で「Berliner Weisse」というビールに遭遇しました。

当然琥珀色のものがビールの色と思っていましたが、なんと真つ赤や真つ青、緑色と鮮やかなものです。飲んでみればまぎれもなく味はビールです。

つまりアルコール入りの甘くないソーダ水なのです。



バンベルクで

こちらでまた変わったビールを見つけました。「Rauchbier」ラオツホビールという煙製ビールです。ひと口飲んで「こりやつまみは要らないや」と思いました。

・この煙製ビールを、普通に焼いたソーセージをつまみに飲むのと、

・普通のラガービールを、煙製のソーセージをつまみに飲むのと

どう違うのか・・・。試して見れば良かったなあ。

サンクトペテルブルグで

日本では紅茶にジャムを落とし入れる「ロシアンティー」が有るのを思い出してガイドさんに聞きました。

「そんな飲み方をするロシア人はいませんよ」という返事です。

ハア、ハンブルグにハンバーグは無い、ウイーンにはウインナコーヒーは無い、ナポリにはスパゲッティナポリタンは無いのと同じことかと、無理やり納得。

ちなみに現地では、ハンバーグは Furikadelle、ウインナコーヒーはアイシシュペナーと言ひ、何と！スパゲッティナポリタンは1927年に横浜のホテルニューグランドで初めて提供された日本発祥のメニューなのだそうです。

ウイーンのカフェで

ウイーンにはウインナコーヒーは無いと言ひましたが、アイシシュペナーとかメランジエとかカプツィナーとかいうのがホイップクリームを入れて飲む

コーヒーで、チョコレートケーキとセットで注文するのが定番のようです。

海外では黙っていて水を持つてくることはほとんどありませんが、このチョコレートケーキ（ザッハートルテ）のセットには水が付いてきます。そして水のコップの上にスプーンを渡し乗せ、小さなトレイに載せて持つてきます。

このスプーンをコップに乗せた姿がユニークで面白い。Café Sacher だけのマナーではなさそう、これがウイーン風なのかもしれません。



チョコレートケーキは Sacher Torte との名前のおり Sacher (ザッハー) が有名ですが Demel (デーメル) も負けていないようです。

食べ比べて見ましたがその差は私には分かりません

でした。

お土産にするには D e m e e r ならあちこちに売店があるので簡単に手に入ります。

しかし持ち帰って食べるよりは、やはり現地でスプーンをコップに乗せたメランジェとのセットで楽しむのがベストのようです。

ナポリのレストランで

マリオ・デ・ステファアーノというテノールおじさんの歌を聴きながらのディナーで、私のお気に入りの



ナポリターナ「カタリ・カタリ」のイントロが流れたので、口を動かしたのを目ざとく見つけて、ステージに引つ張り上げられて歌わされる羽目に陥りました。

家内はまさかの展開に唖然としていたが、同行の友に「ほら！カメラカメラ！」

と慌てて撮らされたのがこの写真。

正面の席の可愛い娘（こ）ちゃん Y O U が、ビツクリシターと固まっていたのが臉に残っています。

カンターレ（歌え）・マンジャール（食べよ）と大いに楽しみ、「ブラヴォ・ブラヴィッシモ」の拍手に送られて

上機嫌で帰途に就く酔っ払いでした。



ナポリの美術館で

潮の加減が具合悪く青の洞窟に入れなかった代わりにと案内された「考古学博物館」が私にとっては大当たり！

大分前に気に入って購入保有していた人造大理石製のレプリカ「カリピュゴスのヴィーナス（美尻のヴィーナス）」の本物に出会えたのです。

本物はさすがに豊満なお尻が見事な傑作でした。レプリカはちよつと痩せ過ぎのようです。



ボルゲーゼ美術館で

ナポリ考古学博物館と同じことがもう一つ。ベルニーニ作「アポロンとダフネ」の本物がローマのボルゲーゼ美術館にありました。

普通は本物に接し感激してレプリカをお土産に買って帰るというパターンだと思うのですが、私の場合は持っているレプリカの

本物に後から出会うという逆のケースなのです。それにしても「アポロンとダフネ」は3mに迫る大



(ゴリアテの首がカラヴァッジョの自画像)



きさでその迫力に圧倒されました。ボルゲーゼ美術館は規模こそさほど大きくありませんが、ベルニーニの傑作以外にも素晴らしい収蔵品も多く、カラヴァッジョの「ゴリアテの首を持つダビデ」もここにありました。



◆◆昭和とは、果たしてどんな時代だったのか——激動とか未曾有やらの言葉で語られてきた時代でもあり、数ある「事件」が「総括」しきれぬまま、私達は時代の波に押され昭和の衣を脱ぎ捨ててしまいました。

▼終戦後のGHQ占領下における未解決な事件として代表的な事件は「下山事件」でしょう。この事件については平成30年度の「三商同窓会報NO57号」・平成30年8月発行「で私なりに見解、疑惑について書きました。「私の祖父が事件に深く関り……」とのショッキングな内容の柴田哲孝著「下山事件」や松本清張の「日本の黒い霧」など、両方とも「死後断断説」・日活や松竹では朝日新聞記者が書いた「謀殺・下山事件」が映画化されDVDを借りて見たこともありました。中学3年でしたがあの事件がおきた昭和24年7月6日の2日前に現場近くにある母方の親類を訪ねて小菅駅をいつも乗降していたので忘れる事ができません。年配諸兄姉はご存知のはずのJR(旧国鉄)常磐線と東武電車のスカイツリーライン(旧伊勢崎線)が交差する北千

住・綾瀬間、東武電車は北千住を出て荒川を渡り小菅駅を出て常磐線の上のガードを走り小菅・五反野間が現場で親類は小菅駅と五反野駅の間あたり近くにあり、今でこそ住宅が建ち、マンションが荒川沿いに並び、当時は淋しい駅で土手沿いにある木造の駅で「東京拘置所・当時は小菅刑務所」だけが目立つ駅でした。生体断断か死後断断かで捜査本部の1課と2課の見解が分かれ、報道も朝日・読売が死後説、毎日が生体説と書き、肝心の司法解剖も慶大中館教授は生体説、東大古畑教授の死後説でした。GHQの微に入り細に亘る謀殺か、国鉄労組の策略か15年後の時効で全てが闇となり事件から73年後の今、私の胸には黒い霧が停滞したままになっています。余談ですが毎日新聞・読売新聞の生体説、死後説の対立はその後のプロ野球の2リーグ分裂の際、セリーグに「毎日オリオンズ」を入れないという読売・正力氏の根底にこの事件も遠因の一つとなっていたと巷ではいわれていた事もありました。

▼もう一つ「三億円事件」です。1968年、昭和43年12月、東芝府中工場にボーナス3億円を運ぶ日本信託銀行のセドリックが府中拘置所脇を走行中後方から来た白バイに急停車を求められ「この乗用車に爆発物をしかけた」との電話が警察にあり行員らに素早く避難するようにと言いつつクルマ下に発煙筒を入れられ白煙が上がるのをみて行員4名がクルマにキーをつけたまま慌てて避難、そのすきに犯人は白バイを放置したまま現金輸送車をクルマごと乗り逃げされた事件で3億円は今の貨幣価値、物価から考えると20億円位でしょうか。考えてみるとこの事件、現金やクルマは被害に遭ったものの人身を傷付けたわけでもなく、また凶器なども使用せず、被害

関係機関も保険金で全てが保証され単なる現金略奪強盗事件でした。ヤッカミ気味に「愉快犯」などの冗談もあつたくらいですが、その手口や計画性の高さ、金額などが映画を観ているようで話題はそちらの方に集中していたと思います。私の歓心はあの「モニタージュ写真」です。かなりのハンサムボーイと思いませんか。強奪された4人の証言で共通していたのは「色白、目が綺麗、神経質そう、言葉づかいが丁寧」などで4人の八つの目でみた共通点を参考につくられたモニタージュ写真が早々に公開されました。ほぼ一瞬での応対（運転手）のみ正面から犯人を見ていただけであんな明解なモニタージュはできないと一部の捜査本部員やマスコミ関係者が不信に思っていたのも事実のようです。まさしくハンサム、好青年そのもので捜査本部によせられた情報の90%以上が「顔写真に似ている男がいる」ものだったそうです。今でもそうですがそんな男性は当たり前のように世間には沢山いました。その写真に疑問をもったのがあの「吉展ちゃん誘拐殺人事件」を独自の捜査で解決に導いた実績のある「平塚八兵衛」刑事でした。このモニタージュ作成に立ち会ったのが運転手1人だけだったのを疑問とし、他の3人は作成に順番に呼ばれると思っていたがそれもなくモニタージュ写真が公開されました。八兵衛はその3人から「あのときは気が動転していて犯人の顔はよく見えなかった」と事件3日後の事情聴取で語ったと報告しています。あの現場で、それも1分にも満たない動転している時間の中、4人の意見が一致するのに八兵衛は疑問が沸いていたのでしょうか。数千枚に及ぶ人相写真の中から4人の最初の発言に近い人物を出しそれに白バイのヘルメット、マフラーを付け合成モニタージュ写真が

できていたと数年後の八兵衛が新聞記者との談話のなかで語っています。事件の1年後、府中市に住むAさんが重要参考人として任意同行されました。12月、毎日新聞の大スクープに他紙も仰天。牛乳配達やタクシー運転などの経歴をもっていた為か、しかし捜査員の中にはモニタージュ写真とあまり似ていないとの少数意見もあつたそうで三億円事件前にこの多摩地区の農協や銀行に送られていた脅迫状の筆跡、切手の裏の唾液なども含めての本部の関係者は「飛び上がるほど」よろこんだそうです。八兵衛刑事は「黒とはいえぬ限りないグレーだ」と先ほどの談話の際に言っていたらしいです。本部はスクープ記事がのった朝刊が配達される日の「丑三つ時」（午前AM2:00頃）任意同行を求めたが結果、確固たるアリバイが成立。取調室を出た時容疑者に八兵衛は「Aさん悪かつたな」と謝罪していたと他社の記者が語っていたと当時の週刊誌が書いていました。事件後の数年の間Aさんに理解を示し手紙のやり取りしていたBさんと結婚、その後毎年事件のあつた12月になると住まいにメディアが集まり、たつた二人で事件の二次被害と戦ったBさんは病がちになり、鬱が原因か1989年逝去、Aさんは2008年に精神を病んだ末に自死しています。あの三億円事件で「モニタージに似ている」という情報にはなんの意味もなく、しかし「二億人を騙したあの顔」は今も鮮やかに記憶となつて国民の脳裏深く刻まれています。

▼その他「グリコ・森永事件」「朝日新聞阪神支局襲撃事件」などが時効となっています。

***写真は、下山事件の現場 幻？の三億円事件のモニタージュ写真



青春!! と云う名の景色

第26期 古田勝一

「生涯青春であり続けたい」との願いから基本的に毎年開催して参りました26同期会も、この2年間はコロナの為に開催することが出来ませんでした。

80歳の傘寿を超えたこの歳になって大変な試練を課せられましたが「長生きをしたことで良い経験をした」と前向きに捉えることとしました。まだコロナが終息した訳ではございませんが、関係者協議の結果「そろそろ開催してみても」との意見もあり、恐る恐るウィズコロナということで心配しながらの開催となりました。



今回の同期会は2組が当番でしたので、代表幹事は高橋一郎さん、清水博さん、石井達義さんをはじめ2組の方々によって進めて頂きました。

令和4年6月18日(土)上野「東天紅」天候晴れ
卒業生 472名

(物故者87名・住所不明者95名・住所判明者290名)

卒業63年目・通算31回目となる今回の同期会、出席者は43名。今迄の会では最少の人数となりました。

「コロナ禍」「ウクライナ情勢による諸物価の高騰」「81〜82歳の年齢」「エトセトラ」を考慮すると、人数が少なくと云うよりむしろこの様な悪条件の中、これは上出来で素晴らしい誇れることではないかと思われます。

流石26期生!!感謝!!感謝!!

司会は清水博さん、当番幹事代表挨拶は高橋一郎さん。

会場では東北支援の一助として恒例の深瀬剛男さんによる「三陸名産 焼まつも」(高級海藻)の販売をし、販売益は「被災地支援義捐金」といたしました。



宴たけなわの中「クラス別記念写真」撮影は杉本光男さん。
 続いて「校歌・応援歌」斉唱：全員、大声で：中には泣きながらの人も居ます。80歳を過ぎて：26期生の仲間として「都の空」を心を込めて歌っていられる幸せを感じながら…。

毎回の事ではございますが、同窓会・前会長の岩瀬和子さん、事務局長の杉本光男さんには26期同期会の原動力となつてバックアップして頂きました。
 又、43名の貴重な26期の出席者——80歳の傘寿を乗り越えた26期生——を誇りに思い、これより先は88歳の米寿へとチャレンジして参ることを誓い合いながらの散会となりました。

同期会って：最高だナ—
 これは歳を重ねた者達だけが味わうことの出来る青春!!と云う名の景色なのかも知れない…。



「本物の八百屋」 野本要二さんが勲章をゲット!!

パートⅡ

野菜に惚れた!! 野菜大好き人間!!

叩き上げの本物の八百屋さんが「勲四等旭日小綬章」なる大変位の高い勲章を受賞されました。

59号では紙面の都合で写真がカットされ、関係者チョッピリがっかりでしたが、今号では写真のみパートⅡとして追加掲載させていただきます。
 (写真撮影は「時の旅人」シリーズの画家、水上健二氏)



右が野本要二さん(東京都青果物商業協同組合・前理事長／全国青果物商業協同組合連合会・直前会長)



野本要二氏 叙勲記念 七組クラス会 令和元年12月23日 浅草神楽坂

令和3年度 会 計 報 告

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月31日現在 (単位 円)

項 目	予 算 額 (A)	執 行 額 (B)	差額(B-A)/(A-B)	備 考
前年度繰越	8,145,632	8,145,632	0	
(収入の部)				
会費(89期)	1,900,000	1,829,120	-70,880	卒業生 183名
運営協賛金	20,000	0	-20,000	
事業収入	505,000	176,000	-329,000	
利息他	100	65	-35	
収入合計	2,425,100	2,005,185	-419,915	
[支出の部]				
理事・評議員会	150,000	12,000	138,000	
総会(同窓生の集い)	0	0	0	
新年会	300,000	0	300,000	中止
校歌祭	170,000	0	170,000	中止
同窓会報	600,000	637,389	-37,389	
ホームページ	80,000	99,000	-19,000	
活性化活動費	50,000	21,265	28,735	
母校部活支援	200,000	264,692	-64,692	
就職活動支援	100,000	98,361	1,639	
母校支援	200,000	215,316	-15,316	
会合費	20,000	0	20,000	
慶弔費	50,000	0	50,000	
通信費	300,000	315,650	-15,650	
事務・消耗品費	80,000	0	80,000	
雑費	10,000	0	10,000	
東京三商会	600,000	600,000	0	事務所使用料
特別会計予算	200,000	200,000	0	
支出合計	3,110,000	2,463,673	646,327	
次年度繰越	7,460,732	7,687,144	226,412	
(事業収入内訳)				
1 新年会会費	150,000	0	中止	
2 「三商同窓会報」広告収入	280,000	176,000		
3 同窓生の集い会費	0	0		
4 校歌祭反省会会費	75,000	0	中止	
5 その他雑務収入	0	0		
合 計	505,000	176,000		

特別会計(周年記念事業)

上記のとおりご報告申し上げます。

令和 4年 4月 26日

前年度繰越 1,203,981

会 計 渡 邊 秀 明

一般会計(89期) 200,000
受取利息 9
収入合計 200,009

監査の結果正確である事を認めます。

令和 4年 4月26日

監 事 古 田 勝 一

差引次年度繰越 1,403,990

監 事 三 川 廣 志

令和4年度 事業計画案

- 新型コロナウイルスの影響で今年も活動が制限されてしまう。
- 母校支援については例年通りとする。。

1 定時評議員会

令和4年5月28日(土) (書面)

2 「三商同窓会報」60号の発刊

投稿締切 令和4年5月末日(厳守) 発行 令和4年7月1日予定
今回も広告をたくさん募集する
今回は20期特集号として発行する

3 第30回東京校歌祭への参加

日時 未定
会場 杉並公会堂大ホール

4 新年会

日時 未定
場所 未定

6 活性化活動

同期会開催のコーディネートに重点を置く

7 支援活動

母校支援(部活動支援、就職活動支援、その他)

9 「公益財団法人 東京三商会」については逐次報告する。

第4号議案

令和4年度 収 支 予 算 (案)

自 令和4年4月 1日
至 令和5年3月31日 (単位 円)

項 目	3年度予算額	3年度執行額	項 目	4年度予算額	備 考
前年度繰越	8,145,632	8,145,632	前年度繰越	7,687,144	
(収入の部)			(収入の部)		
会費(89期)	1,900,000	1,829,120	会費(90期)	1,800,000	
運営協賛金	20,000	0	運営協賛金	20,000	
事業収入	505,000	176,000	事業収入	525,000	
利息他	100	65	利息他	60	
収入合計	2,425,100	2,005,185	収入合計	2,345,060	
(支出の部)			(支出の部)		
理事・評議員会	150,000	12,000	理事・評議員会	150,000	
総会(同窓生の集い)	0	0	総会(同窓生の集い)	0	
新年会	300,000	0	新年会	300,000	@6,000- 50名
校歌祭	170,000	0	校歌祭	245,000	*
同窓会報	600,000	637,389	同窓会報	600,000	
ホームページ	80,000	99,000	ホームページ	80,000	
活性化活動費	50,000	21,265	活性化活動費	50,000	
母校部活支援	200,000	264,692	母校部活支援	200,000	
就職活動支援	100,000	98,361	就職活動支援	100,000	
母校支援	200,000	215,316	母校支援	200,000	
会合費	20,000	0	会合費	20,000	
慶弔費	50,000	0	慶弔費	50,000	
通信費	300,000	315,650	通信費	300,000	
事務・消耗品費	80,000	0	事務・消耗品費	80,000	
雑費	10,000	0	雑費	10,000	
東京三商会	600,000	600,000	東京三商会	600,000	
特別会計予算	200,000	200,000	特別会計予算	200,000	
支出合計	3,110,000	2,463,673	支出合計	3,185,000	
次年度繰越	7,460,732	7,687,144	次年度繰越	6,847,204	

(校歌祭予算)

参加費・広告費	60,000
交通費60名@1,000-	60,000
反省会費用25名*5000	125,000
計	245,000

(事業収入明細)

① 新年会会費 ¥3,000- 50名	150,000
② 三商同窓会報広告収入	280,000
③ 同窓生の集い会費 ¥3,000- 60名	0
④ 校歌祭反省会会費 ¥3,000- 25名	75,000
⑤ その他雑務収入	20,000
合 計	525,000

令和3年度特別会計(周年記念事業)

前年度繰越	1,203,981
一般会計(89期会費)	200,000
受取利息	9
収入合計	200,009
支出合計	0
差引次年度繰越	1,403,990

令和4年度特別会計(周年記念事業) (案)

前年度繰越	1,403,990
一般会計(90期会費)	200,000
受取利息	6
収入合計	200,006
支出合計	0
差引次年度繰越	1,603,996

編 集 後 記

コロナ過で、同期会も殆ど開催されず、当然その様子を伝えるご報告も無い昨年と今年は、十九期、二十期の大先輩達に助けられました。改めて深く感謝いたします。

早く元の生活に戻り、同窓生が一堂に会する、新年会や校歌祭、旧交を温める同期会の様子などを、誌面でお伝えできるようになりたいと、願っております。

同窓会広報委員会 同窓会報グループ

第四十九期 岩瀬茂幸

三商同窓会報第六十号

令和4年8月1日発行

発行者

都立第三商業高等学校同窓会

発行責任者

都立第三商業高等学校同窓会 広報委員会

編集者

東京都江東区牡丹1の12の8 三商会館4階

都立第三商業高等学校同窓会事務局

杉本 光男

電話 03 (3643) 3392

ファクシミリ 03 (3643) 3396

印刷所

オフィス岩瀬

広告のページ

広告協賛 随時募集中！

Sugimotokouji

株式会社 杉本好二商店

代表取締役 杉 本 光 男

第26期 (卓球部)

〒130-0002 東京都墨田区業平1-17-5
TEL 03-3623-2185
FAX 03-3623-1859

砂 利 ・ 砂 ・ セ メ ン ト ・ 砕 石
生コンクリート・アスファルト 販売店

中小企業、納税者の権利拡充に努めます。

税理士法人 荻野会計事務所

経営革新等支援機関

— 経済産業省 —

代表社員

荻野弘康 (第二十二期)

東京都荒川区南千住五-二五-十四
〒116-0003

TEL: 03-3803-2328

FAX: 03-3805-2069

MAIL: zai_ogi@d3.dion.ne.jp

～同級生からのコメント～

昭和29年10月第1回全国高等学校簿記コンクール
に出場団体戦優勝都立三商 (荻野・西脇・中川)
個人の部優勝 (荻野弘康)

ふぐ・鶏ちゃん・焼き鳥

鳥

義

墨田区石原 3-17-3-101

電話 03-3626-4466

FAX 03-3622-8349

30 期

氏家

賢

柔道部

<http://e-sumida.gr.jp/toriyosi/>

有限会社 みのる不動産

都知事(14)21090号
公益社団法人 東京都宅地建物取引業協会 会員

代表取締役 三 川 廣 志

(第 3 4 期)

■亀戸店 東京都江東区亀戸7丁目11番12号 京葉道路面
TEL (3684) 5851(代) FAX (3684) 5850
E-mail: mk@e-minoru.com

■本 店 東京都江東区北砂7丁目4番3号 環状四号面
TEL (3644) 7573(代) FAX (3640) 2543

関西風お好み焼き

どんどん亭

33期 坂口保夫



森下交差点角 すき屋並び
定休日月曜日 営業時間 17時~23時

電話 03-3635-4823
江東区森下2-18-1

リサイクルショップ
てるてるぼうず

代表
大 石 傑 一 郎

(23期珠算部々長)

曳舟本店 〒131-0032
東京都墨田区東向島 2-14-1
メゾンド大石1階
☎ 03 (3616) 2439 (代) FAX 03 (3861) 0067
自 宅 〒111-0051
東京都台東区蔵前 4-28-5
蔵前大石ビル4階
☎ 03 (3861) 0084 FAX 03 (3861) 0067

割箸・テーブルウェアで113年



株式会社

赤 田 本 店

AKADA COMPANY, LTD.

代表取締役 赤 田 安 司
(第34期)

住所 〒130-0004 東京都墨田区本所3-23-10
電話 03-3625-4184 FAX 03-3625-9399
メール akada-honten@mx5.ttcn.ne.jp

番号印刷専門 昭和13年1月1日開業

スドウナンバー

31期 須藤 義勝

〒104-0043 東京都中央区湊 2-3-3
Tel.03-3551-9078 Fax.03-3553-8486

旬の肴
柳
YANAGI

柏 俊太郎 (第35期)

〒136-0071
東京都江東区亀戸 6-23-10
カーサカッシーノ 1F
TEL 03-3682-0033



株式会社 エイケン

相談役 今 泉 清

☎ 273-0861
本 社 千葉県船橋市米ヶ崎町 729 番地
TEL 047(422)0211 (代)
FAX 047(422)0229
携 帯 090(3228)6477

31期 レスリング部

(第21期) 平林 慶雄

有限会社 平林油店

灯油・軽油・潤滑油・配達いたします
油の事ならご相談ください。

本店・自宅 (03)3644-4487
江東区南砂4-19-13

南 砂 S S (03)3644-6161
江東区南砂3-4-5



三商49期

同期会一同

1963年4月～1964年3月生

1982 年 3 月 卒



細田木材工業株式会社

顧問
細田安治 (19期)



合法木材供給
事業者認定
[輸入協-037]



〒136-0082
東京都江東区新木場 2-5-3
☎03-3521-8701
fax03-3521-8708
e-mail: yasuji@woody-art-hosoda.co.jp
https://www.woody-art-hosoda.co.jp/



みっま

住所/130-0022
東京都墨田区江東橋
4-20-4

TEL/03-3631-5850

定休日：土曜及び祝日です

河西紀道 第25期
(墨田区食品衛生協会会長)

手
打
蕎
麦



(墨田区銘品名店会)

細く長く どちらも自然食

木く長く

おしゃれエプロンメーカー

有限会社 篠 崎

取締役会長 篠崎 清 (第22期)

〒272-0021 市川市八幡4-17-33

TEL047-334-5027 Fax047-334-5432



**街と住まいと
お客さまをつなぐ**

不動産のことならご相談ください
住宅・事業用など
トータルサポート致します

【当社開発事例 イメージパース】
新築分譲住宅 全5棟
大雄開発「クリエーションシリーズ」



(公社)東京都宅地建物取引業協会会員 東京都知事免許(13)第26577号
大雄開発株式会社

代表取締役会長 松岡雄治(第26期)

〒136-0072 東京都江東区大島1-29-6 アブローズ西大島101

TEL:5628-1511 FAX:3636-2292



物件情報満載 HP

売買情報 <http://www.daiyukk.co.jp> 賃貸情報 <http://www.daiyukk.com>
『新着物件情報』・『オープンハウス情報』など掲載中です!!

強力な経営参謀ソフト

パソコン・ソフトの開発と販売 Excel 版

常にリスクを考え戦略を立てる先見経営・先行管理ソフト

【資金繰り】・【先見経営】・【財務会計】

経営動向・決算予測・経営分析・中期5か年計画・資金管理

北海道から沖縄まで中小企業、及び全国の会計事務所に納品しています。
ビックサイトに出店経験あり。「お役立ち会計事務所全国100選」に掲載。

会計・経営・相続 相続無料相談（予約制）

田村博税理士事務所

西 邨 昭 一（第31期）

一般社団法人 千葉県宅地建物取引業協会
公益社団法人 全国宅地建物取引業保証協会千葉本部
専任相談員

〒260-0024 千葉市中央区中央港1-17-3（千葉県不動産会館）
TEL：043-241-6671 FAX：043-245-0866

（自宅）
〒279-0042 浦安市東野2-6-1
TEL：047-353-0932 FAX：047-353-0932

中華喜楽

江東区亀戸3-44-16
電話 03-3681-0563

天神様もお忍びで来るらしい！亀戸天神そば
定休日月曜日（祝日の場合営業）
営業時間10時から22時 33期 長浜英行

神田鎌倉橋店 03-3256-2984
外神田店 03-3832-2981

とんかつ★串揚げ

かつ進

SAIKOU
ますだ

26期 増田進一郎
31期 増田トシ子

文京区湯島3-8-1
03-(3833)4529
昼 十一時～十四時半
夜 十七時～二十二時半
※社会情勢により変更あり

創業明治四〇年

下町の味を伝えて一世紀

うなぎ

川 勇

高木 利夫

（第三十三期）
元史学部

〒110-0011
東京都墨田区石原三三〇九
TEL：03-3621-5592
FAX：03-3621-5592
E-mail:unagiya@com.home.ne.jp

夢をかたちに・・・



中外徽章株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-2

TEL:03-3294-3431 FAX:03-3294-3436

<http://www.chugaikisyo.co.jp>

相談役 古田 勝一（第26期）



傘寿から米寿へ

さん

じゅ

べい

じゅ

希望は燃ゆる若き、われら・・・

祝

昭和34年（1959年）なつかしの時計塔が

聳える校舎を472名で卒業した26期生（生存者400名程）は
令和2年～3年に80才の傘寿を迎え。これより先は88才の
米寿へとチャレンジして参ります。

「生涯青春で有り続けたい」との願いから、第26期は
毎年同期会を開催しております。

第26期 同期会会長 古田 勝一